



2020年4月24日

各位

会社名：アコム株式会社
 代表者名：代表取締役社長兼会長 木下 盛好
 （コード番号：8572 東証第一部）
 問合せ先：広報・IR室長 岡本 貴史
 電話番号：03-5533-0861

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2019年5月14日に公表しました2020年3月期（2019年4月1日～2020年3月31日）の業績予想について、下記のとおり、修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2020年3月期通期業績予想数値の修正（2019年4月1日～2020年3月31日）

（1）連結

（単位：百万円、％）

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益（円）
前回発表予想（A）	275,500	87,600	87,900	75,500	48.19
今回修正予想（B）	279,500	75,600	75,100	59,600	38.04
増減額（B－A）	4,000	△12,000	△12,800	△15,900	
増減率（％）	1.5	△13.7	△14.6	△21.1	
（ご参考）前期実績 （2019年3月期）	277,069	57,607	58,205	37,781	24.12

（2）個別

（単位：百万円、％）

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益（円）
前回発表予想（A）	205,200	63,700	69,000	70,300	44.87
今回修正予想（B）	206,900	49,200	56,300	53,600	34.21
増減額（B－A）	1,700	△14,500	△12,700	△16,700	
増減率（％）	0.8	△22.8	△18.4	△23.8	
（ご参考）前期実績 （2019年3月期）	203,636	33,635	37,472	29,927	19.10

アコム株式会社

2. 修正の理由

(1) 連結業績予想の修正について

前回の業績予想に対して、営業収益は、営業貸付金利息、償却債権回収益が計画を上回ったことなどから、2,795億円(前回予想比40億円増)となる見込みです。

営業費用(金融費用、貸倒関連費用、その他の営業費用)が計画を下回る見込みです。一方で、2020年3月期の返還請求件数の状況や、足もとの市場環境や返還請求動向などを踏まえ将来の請求発生予想額を再算定した結果、利息返還損失引当金に197億円を繰入れすることといたしました。その結果、営業費用全体では2,039億円(同160億円増)となる見込みです。

これらの結果、営業利益は756億円(同120億円減)、経常利益は751億円(同128億円減)、親会社株主に帰属する当期純利益は596億円(同159億円減)となる見込みです。

なお、期末の利息返還損失引当金残高は876億円となる見込みです。

(2) 個別業績予想の修正について

前回の業績予想に対して、営業収益は、営業貸付金利息、償却債権回収益が計画を上回ったことなどから、2,069億円(前回予想比17億円増)となる見込みです。

営業費用(金融費用、貸倒関連費用、その他の営業費用)が計画を下回る見込みです。一方で、2020年3月期の返還請求件数の状況や、足もとの市場環境や返還請求動向などを踏まえ将来の請求発生予想額を再算定した結果、利息返還損失引当金に197億円を繰入れすることといたしました。その結果、営業費用全体では1,577億円(同162億円増)となる見込みです。

これらの結果、営業利益は492億円(同145億円減)、経常利益は563億円(同127億円減)、当期純利益は536億円(同167億円減)となる見込みです。

※業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、最終の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上